

長崎大学の事例 学習・教育の場としての図書館

平成20年6月26日(木)
長崎大学附属図書館 郷原正好



中期目標・中期計画



- 長崎大学のミッション
 - ▶ 「学生顧客主義」
 - ▶ 最高水準の教育の提供と支援体制の強化
- 教育環境整備に関する基本方針
 - ▶ 附属図書館の整備、全学的な観点から施設の効果的・効率的な利用
 - ▶ 学習・教育・研究の基盤施設として整備・体制を整える



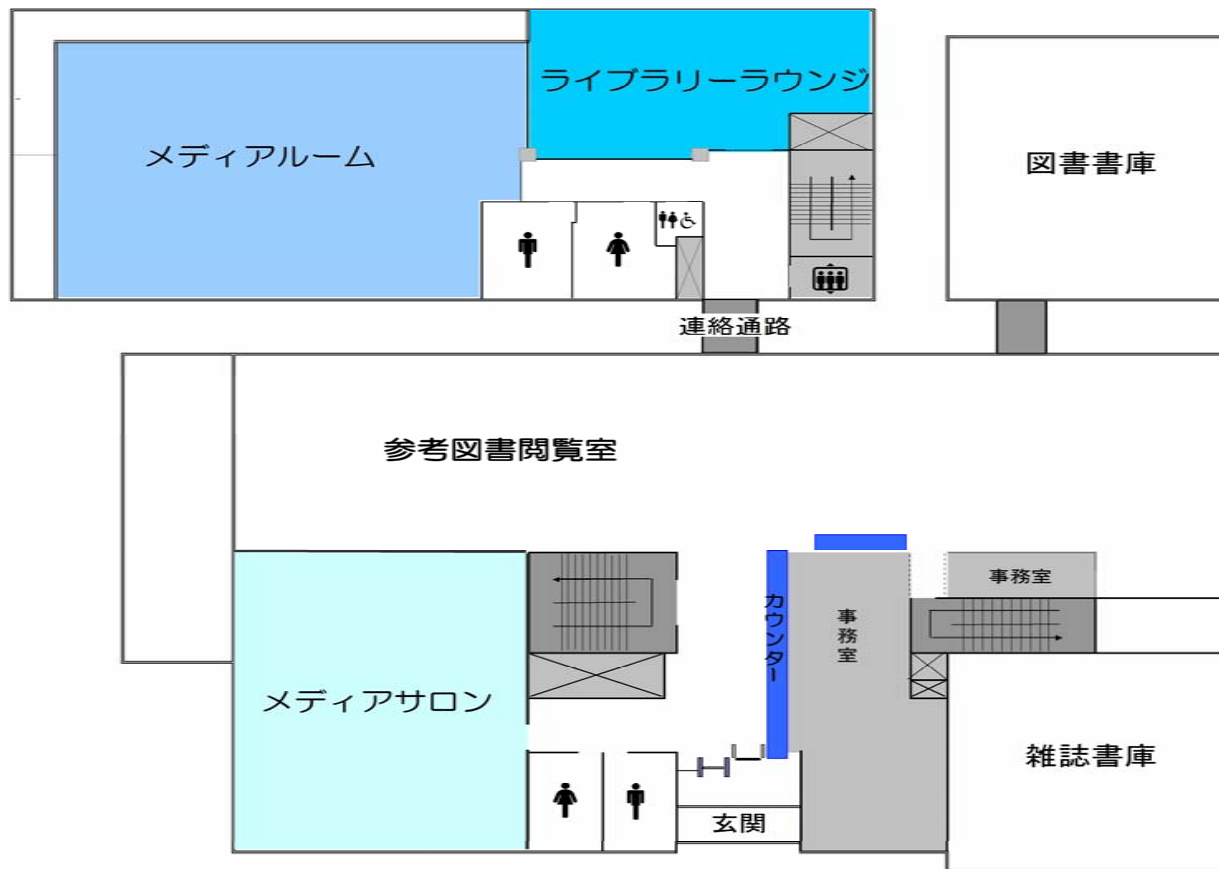
新しい学習スペースの提供



- 学長、図書館長のリーダーシップ
- 昭和46年に建設された図書館での学習環境は限界、「暗い」、「狭い」イメージの図書館からの脱却
- 学生が長時間過ごせる空間提供へ！
- 「明るい」、「綺麗な」イメージの図書館へ！
- 平成19年6月、中央図書館2階フロアに新たに2つの部屋がオープン(450㎡スペース増)



中央図書館2階の平面図



ライブラリーラウンジ



- 組み合わせ自由なテーブル: 32席
- 情報コンセントを備えたハイカウンター: 12席





- 会話ができるグループ学習空間の提供





- 図書館を活用した実践的授業の取り入れ



メディアルーム



- 情報メディア基盤センターパソコン:52台
- 情報コンセント付き閲覧席:40席
- 学習空間・情報リテラシー教育空間の提供



図書館ガイダンス



- 図書館員によるガイダンス・セミナーの実施



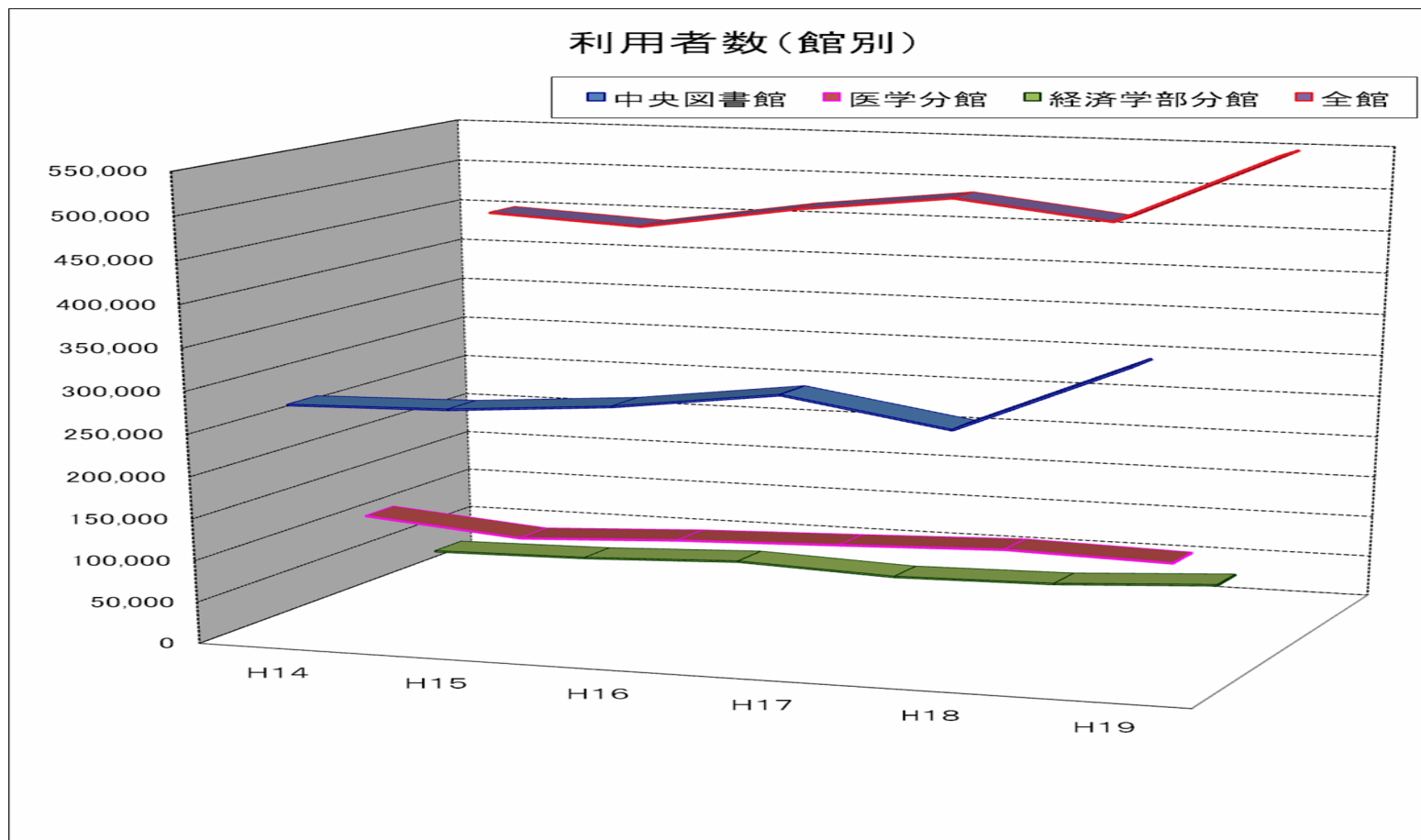
メディアサロン



- 多くのパソコンが設置されていたパソコンルームからAV資料・CNN放送・新聞・軽雑誌等のある、くつろぎ空間へ
- ライトグリーン・ソファのアメニティ空間



利用者数の増加



今後の展望



- 新館1階に書庫の増築
- 中央図書館全面改修コンセプト
 - ▶ 耐震補強工事
 - ▶ 1Fのメインフロアー化(図書の設定も検討)
 - ▶ 24時間開館(1Fに実現)
 - ▶ バリアフリー化(エレベータ等の設置)
 - ▶ カフェスペースの設置

